

令和4年度

宇城市

介護給付費等分析報告書 認定者情報と介護給付データによる **維持改善率・悪化率**の分析

分析対象期間：平成28年4月1日～令和4年4月1日

株式会社 くまもと健康支援研究所

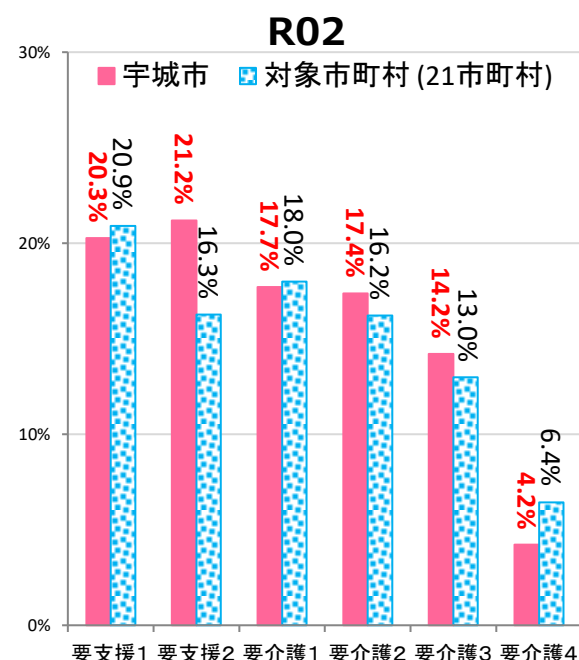
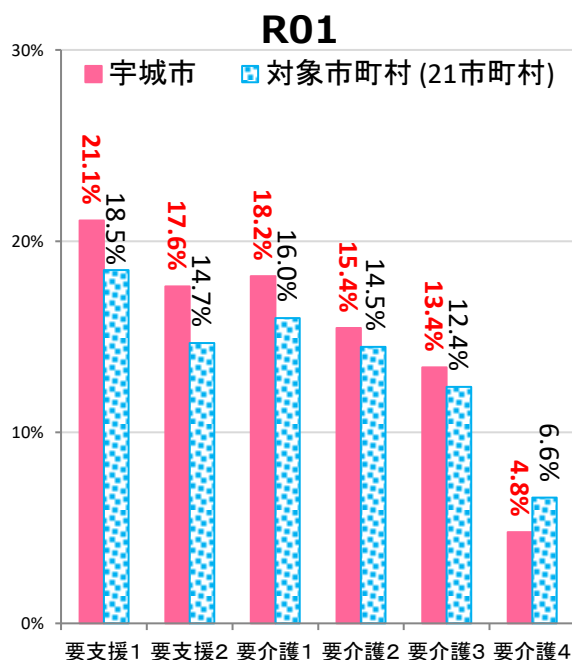
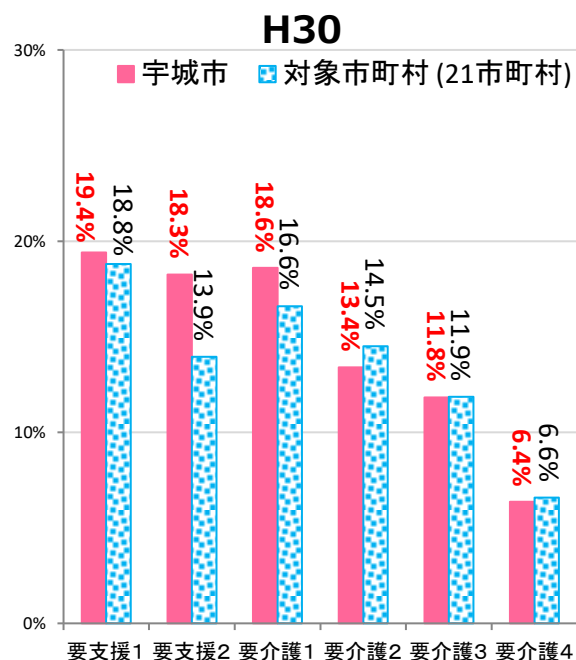
介護度の変化の集計イメージ

	被保険者番号	〇〇年4月1日 介護度		翌年4月1日 介護度	
Aさん	10000000001	要介護 2	⇒	要介護 3	 悪化（重度化）
Bさん	10000000003	要介護 2	⇒	要介護 2	 維持
Cさん	10000000007	要介護 2	⇒	要介護 1	 改善（軽度化）
...	...	...		...	

- ・被保険者ごとに、各年度の4月1日時点の介護度を比較
- ・介護度が上がっていたら「**悪化（重度化）**」、下がっていたら「**改善（軽度化）**」、変化がなければ「**維持**」

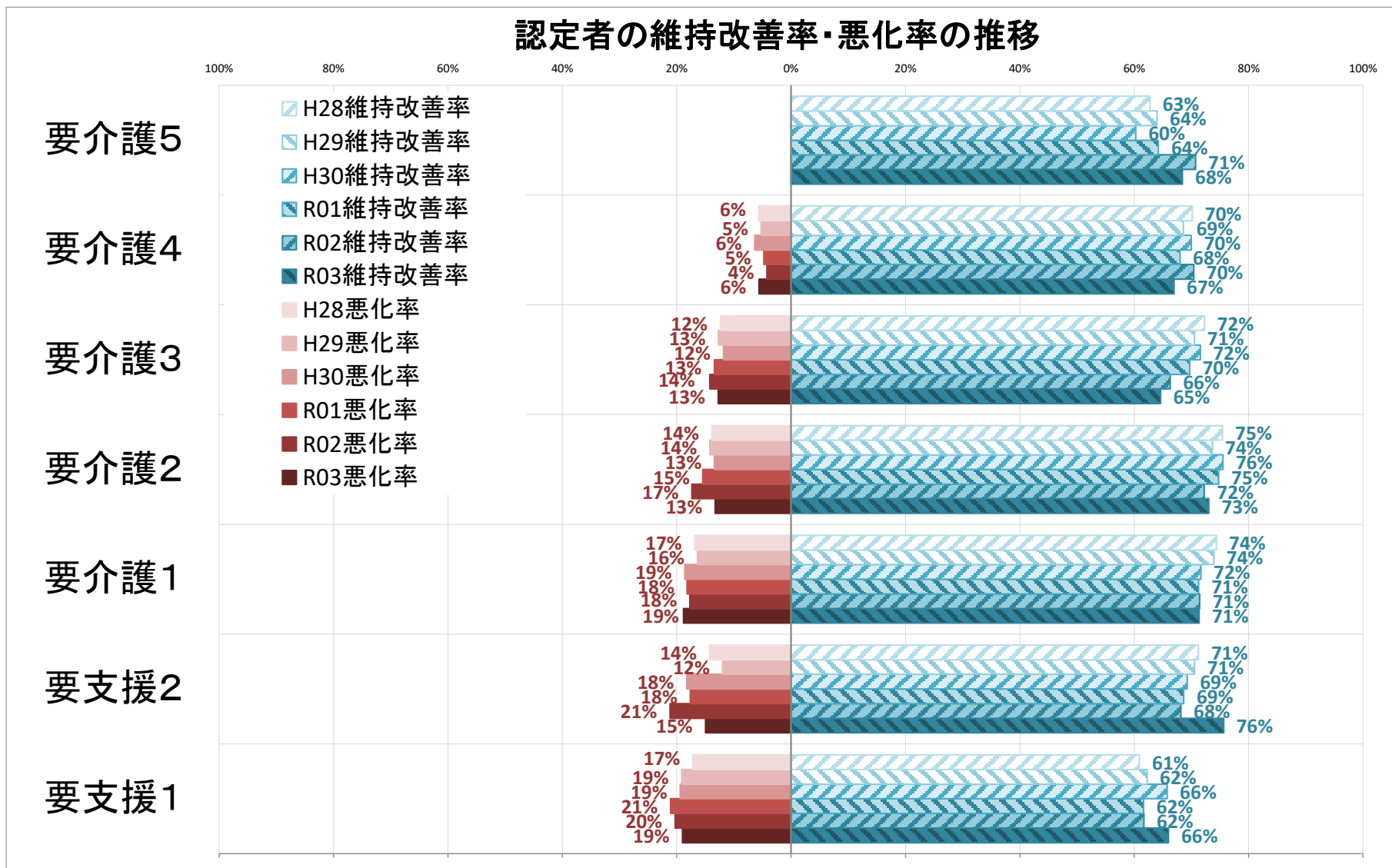
認定者の要介護度の変化（保険者比較・全年齢）

- 弊社データベースによる悪化率を認定期間で補正して保険者比較したところ、平成30年度～令和2年度を通じて、全体的に悪化率が他市町村平均よりも、やや高い傾向である。



認定者の要介護度の変化の推移（全年齢）

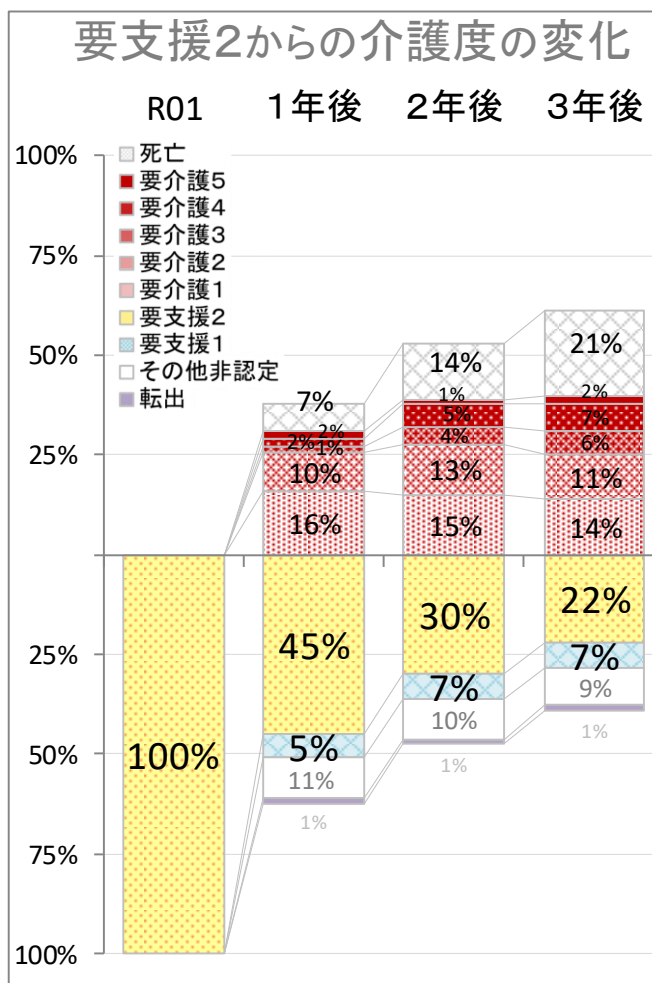
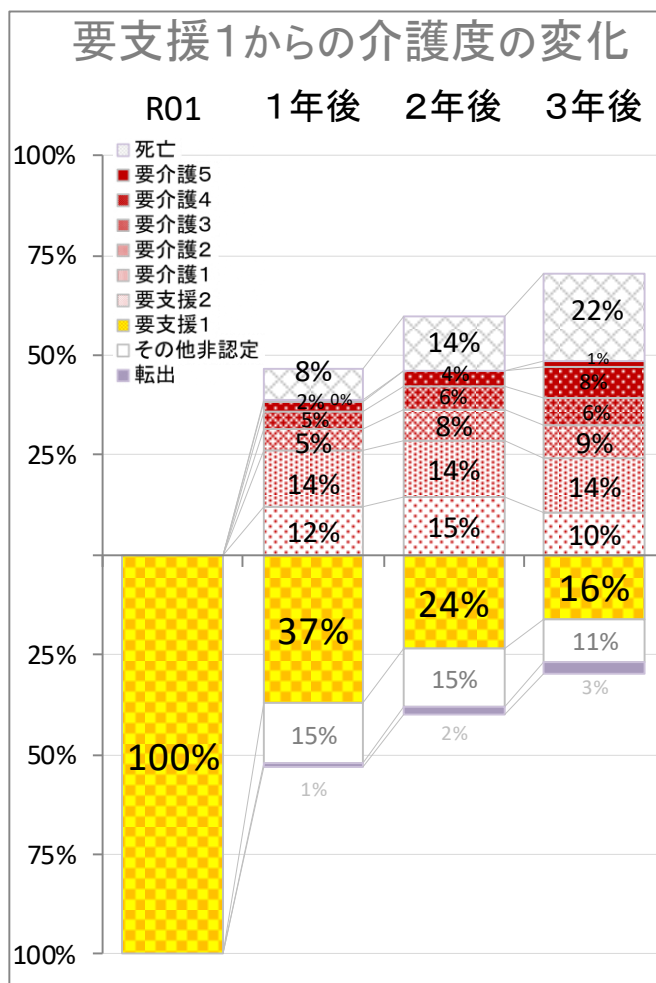
- 令和3年度は要支援1要支援2において、維持改善率の増加、悪化率の減少がみられた。



※経年比較のため、維持改善率および悪化率については、認定期間の長さを考慮した補正をしている。

要支援1～2からの介護度の変化（3ヶ年度追跡）

- 令和元年4月1日に要支援1だった人のその後を追うと、**1年後にも要支援1に留まるのは37%**である。3年後には**48%の人が要支援2以上に悪化**しており、3年後の死亡者（22%）を除いて、自立などにより宇城市の介護認定を外れる人は11%である。
- 令和元年4月1日に要支援2だった人のその後を追うと、**3年後にも要支援2に留まるのは22%**であり、改善して要支援1になるのは7%である一方、**40%の人が要介護1以上に悪化**している。3年後の死亡者（21%）を除いて、自立などにより宇城市の介護認定を外れる人は9%である。



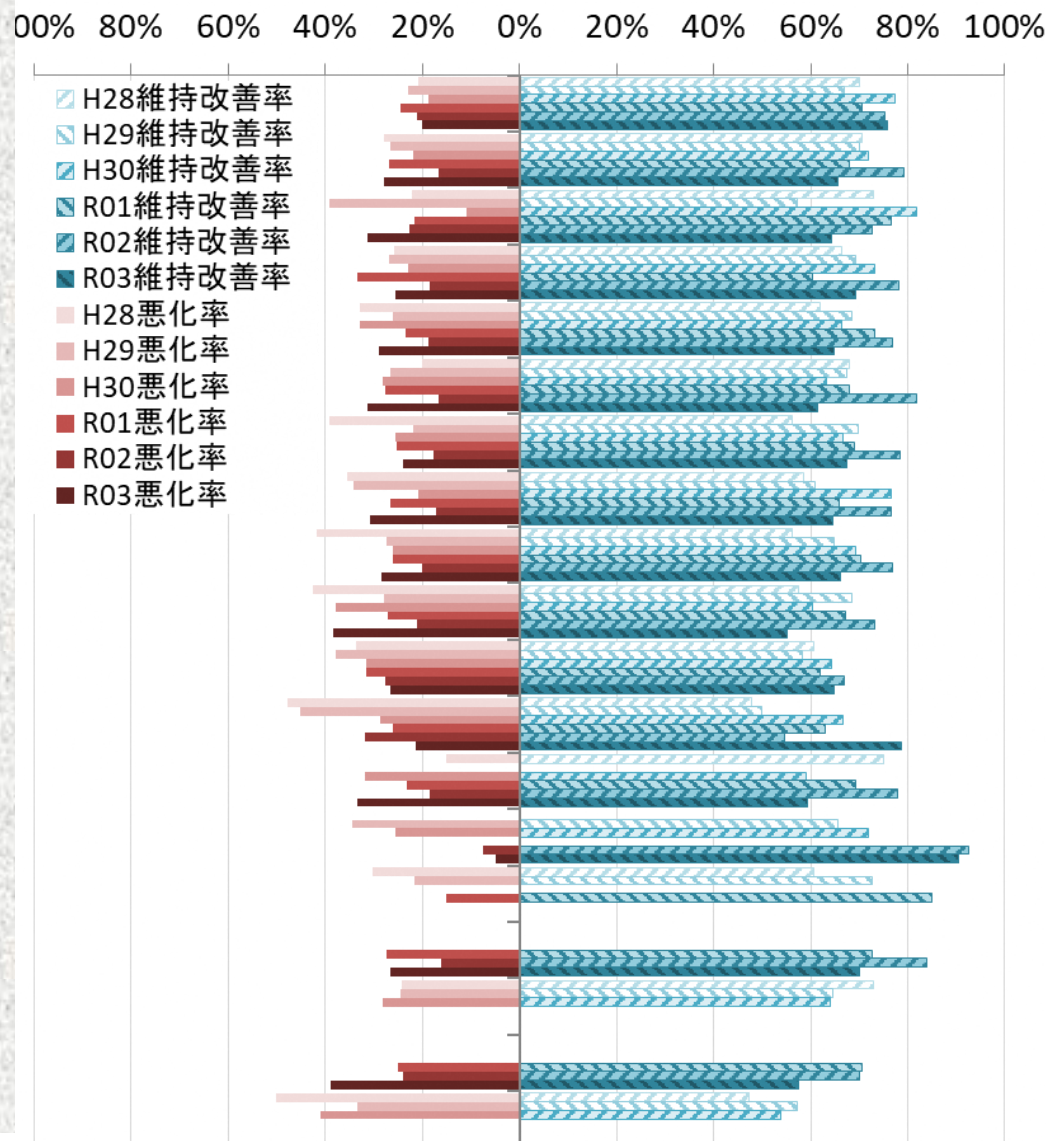
居宅介護支援・介護予防支援 事業所別 介護度変化 (経年推移)

◎6ヶ年度とも
平均を上回る事業所

↓
1ヶ所

▲6ヶ年度とも
平均を下回る事業所

↓
1ヶ所

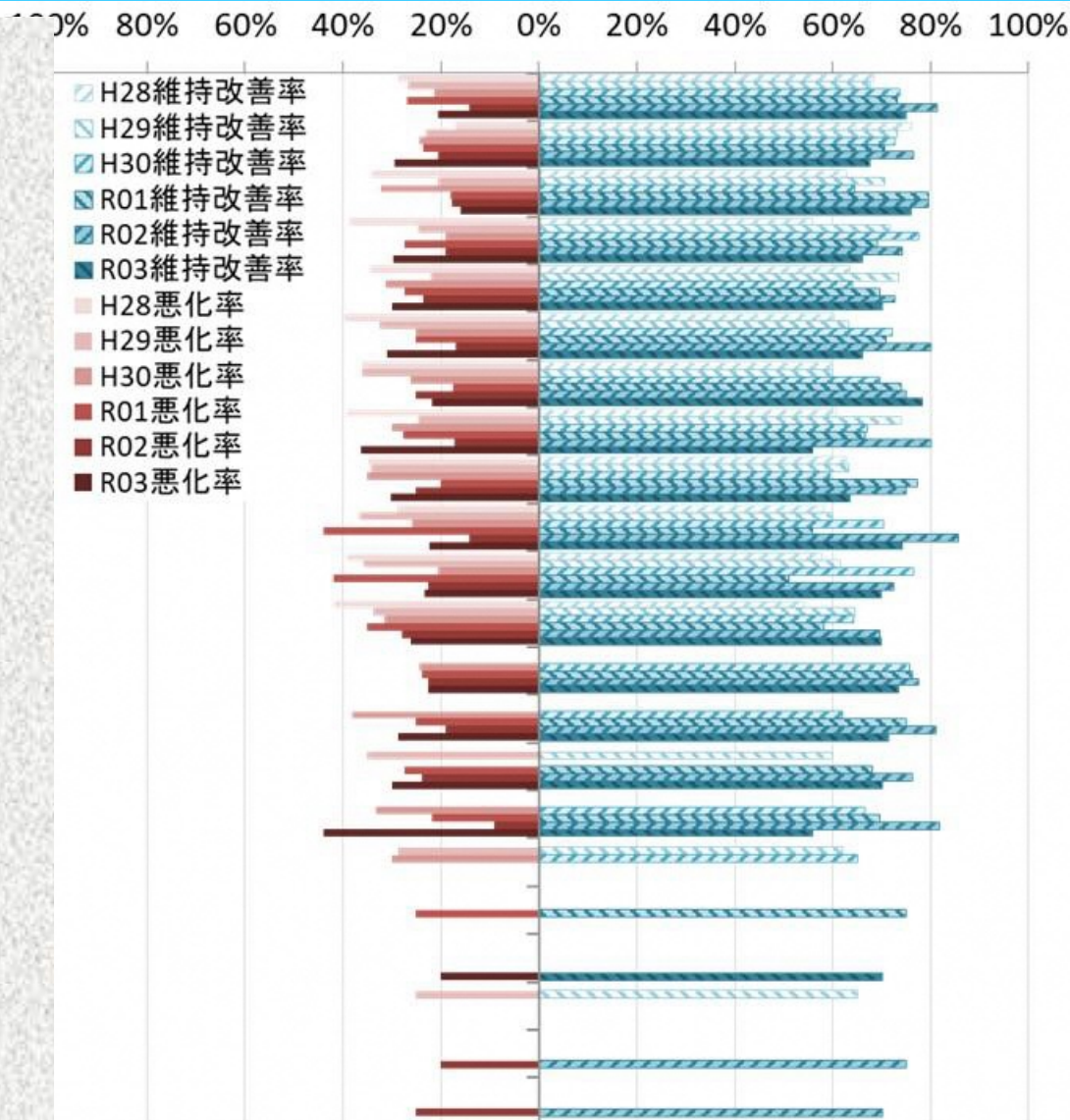


◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲分析対象期間全年度において平均を下回る事業所
※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。
年度内に集計対象となる利用者数が**20人未満**となる場合は、グラフ上に表示していない。

通所介護 事業所別 介護度変化 (経年推移)

◎6ヶ年度とも
平均を上回る事業所
↓
2ヶ所

▲6ヶ年度とも
平均を下回る事業所
↓
0ヶ所

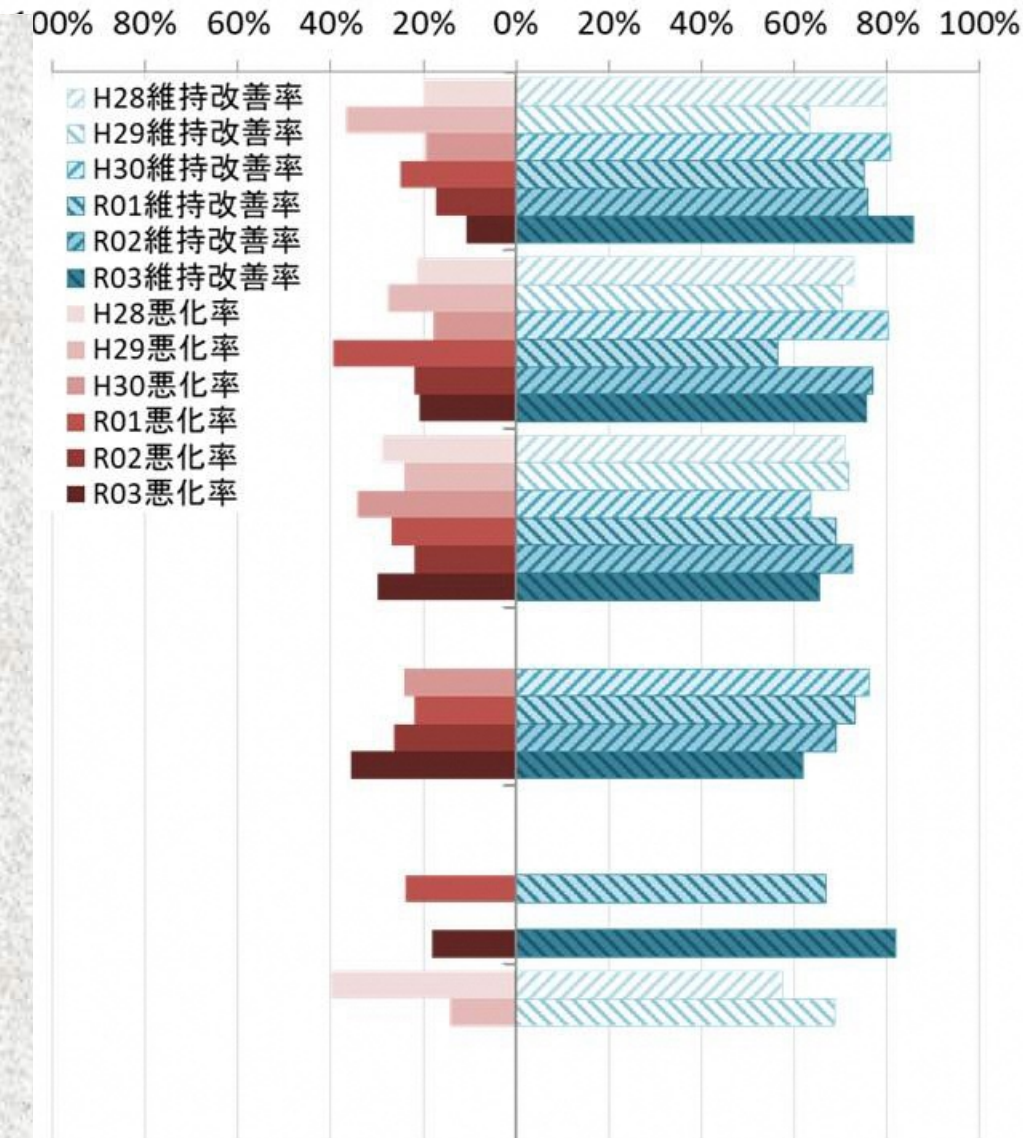


◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所
※ 各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。
年度内に集計対象となる利用者数が**20人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。

通所リハビリ 事業所別 介護度変化 (経年推移)

◎6ヶ年度とも
平均を上回る事業所
↓
0ヶ所

▲6ヶ年度とも
平均を下回る事業所
↓
0ヶ所

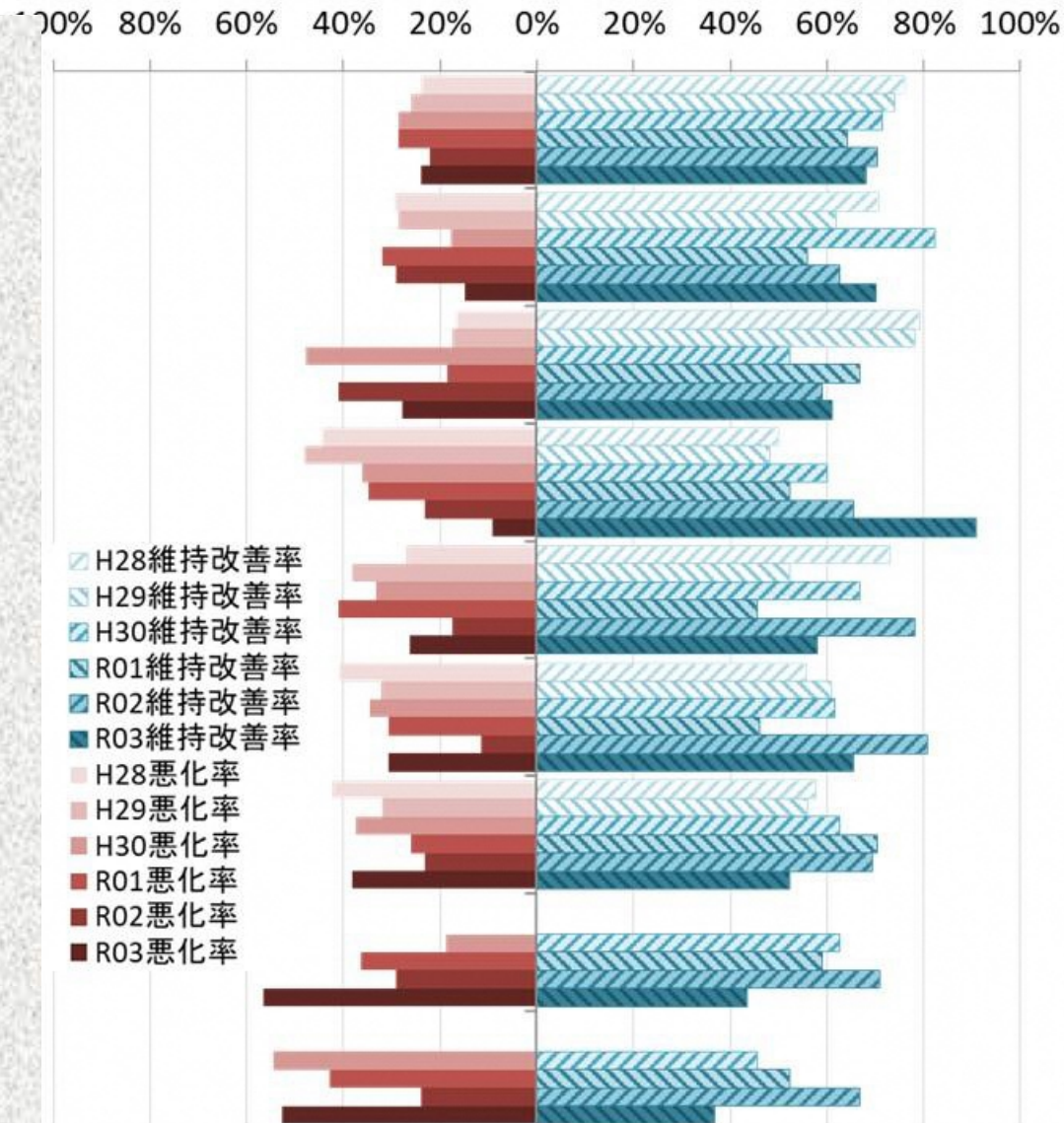


◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲分析対象期間全年度において平均を下回る事業所
※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。
年度内に集計対象となる利用者数が**20人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。

小規模多機能 事業所別 介護度変化 (経年推移)

◎6ヶ年度とも
平均を上回る事業所
↓
1ヶ所

▲6ヶ年度とも
平均を下回る事業所
↓
0ヶ所



◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲分析対象期間全年度において平均を下回る事業所

※年度内6ヶ月以上利用者数10人以上の事業所について、維持改善率・悪化率を集計した。

年度内に集計対象となる利用者数が10人未満となる場合は、グラフ上で表示していない。